

さんぽもたより

2013
秋号
vol.6

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

もみじ

良寛さんの詩に
裏を見せ
表を見せて
散るもみじ
というのが
年をとると
新緑より
紅葉に
心ひかれる
人間も
散りぎわが
大事だ



館長エッセイ

皆さんの率直なご意見とご要望を！
真民詩の素晴らしさを伝えるため、
どこへでも講演に出向きます

真民詩とわたし vol6

もうひとつの命を
与えてくださいました 次家 誠さん

真民詩を読み解く ⑤

捨てることに徹する生き方を詠む
「大事なこと」

記念館からのお知らせ

平成25年度坂村真民記念館
ボランティアガイド養成講座・募集要項

企画展のお知らせ

ミュージアムショップ拝見

【第六回】皆さんの率直なご意見とご要望を！

真民詩の素晴らしさを伝えるため、 どこへでも講演に出向きます

「相田みつをさんとのコラボ展」が終わって、新しく「吉田時代の坂村真民展」が始まっていますが、来館者数が減っています。6・7月の一日平均入場者数は、約31名という結果が出ています。

この記念館の果たすべき役割とそれについてどう対応するか、ということについて前回の号で書きましたが、それは、全国から来館者が来て下さることが前提の話です。

あらためて、来館者を確保することの難しさを感じています。坂村真民の詩の魅力とこの記念館の素晴らしさを、どうしたらもっと多くの人に知ってもらえるのか。また、どうしたらその人たちに記念館に来てもらえるのか。真剣に考えなければならぬと思います。

現在の来館者の状況では、記念館の経営は、非常に難しい局面に立たされています。もちろん、経営面だけで判断することとは、一面的であり、文化的側面、教育

的側面からの存在意義も考慮する必要があります。

しかし、この状況を改善しなければならないことは、誰もが認めざるを得ません。

そこで、皆さんにお聞きしたいのです。この状況を打破する方法について、率直なご意見とご要望をお寄せください。企画展の中身について、展示の方法について、記念館の運営方法について等、何でも構いませんので、自由なご意見とご要望を是非お聞かせください。

もちろん、私も、新たな気持ちで、真民詩の魅力と記念館の素晴らしさをPRすることに全力を傾けます。

私は、この1年間で、学校、教育団体、公民館、図書館、倫理法人会、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、新聞社主催の文化講演会等で35回講演をしました。が、県内の講演会でも、「念ずれば花ひらく」という言葉を知っている人は約3

分の2位おられますが、真民詩を読んだことのある人は一割もいません。県外では、さらに少なくなるのは当然です。

しかし、私の講演を聞いて、記念館に来てくださる方が何人かはいらっしゃる。ことが、本当にありがたいことです。

そこで、今後は、もっと積極的にこうした活動をしていかなければと思っています。県内はもちろん、県外にも積極的に出ていき、もっともつと、真民詩と記念館の魅力をPRしていきたいと考えていますので、皆さんの近くで、講演会等を計画していただけたら、是非ともお伺いしたいとお思いますので、どうぞ声をかけてください。費用については、交通費程度を負担していただければ、喜んでお伺いします。

また、費用負担が難しい学校や教育団体等につきましては、無償でお伺いすることも可能ですので、遠慮なく声をかけてください。

これまでお話をしたテーマは、「坂村真民の人生と詩の魅力について」、「日本人の生き方と坂村真民の詩について」、「二度とない人生をいかに生きるか」、「現代をどう生きるか」坂村真民の詩をヒントに、「いのちの大切さを考える」坂村真民の詩をヒントに、「人間としての生き方を考える」坂村真民の詩をヒントに、「坂村真民の詩を貫く五つの「ところ」」等で、中学生から成人、高齢者まで様々な階層の人たちにお話をしてきました。

どうぞ、皆さんの所属する団体、会社等でご検討いただければ、幸いです。



もうひとつの命を 与えてくださいました

つぐいえ まこと
次家 誠さん(80歳)



大洲市長浜でパンの店「まことや」を営む次家誠さんは、真民さんにもうひとつの命をもらったという。事故で半身不随となり、絶望の淵にいた誠さんに新たな生命を吹き込んだのが真民さんだった。誠さんは自由にならぬ手に筆を握り、真民さんの思いを伝え続けている。

◆どん底で詩に出会う

終戦の年に朝鮮から引き揚げ、中学卒業とともに横浜のパン屋で働いて、給料はそっくり両親に送りました。愛媛に戻ってパン屋を開いたのは20代なかばのことです。

ところが商売はうまくいかず、どん底の生活でした。そんなとき、新聞で真民先生の詩「自分の花を咲かせよう」に出合ったのです。

すぐに手紙を書きました。返事は来ませんでした。毎日毎日出しました。

◆生きざまに学ぶ

ある方のおかげで、先生にお会いすることができました。お会いした瞬間、

「仏様」だと思いました。それから、悩みがある、前掛け姿のまま祇部の家を訪ねたのです。

言葉はいりません。

先生の前に黙って座っているだけで、もやもやがスーッと消えて、気持ちが落ち着くんです。

こんなことがありました。先生を訪ねたとき、色紙を書いてほしいという遠来の客があ

りました。客は金の入った分厚い封筒を差し出しましたが、先生は最後まで首を縦に振らなかった。

客が帰ったあと、「何か用事か」と聞かれたので、「いえ、さっぱりしたから帰ります」「それなら、これ持って帰れや」と、一枚の色紙を渡されました。

「念ずれば花ひらく」——私が求めていた言葉がそこに記されていました。

◆「夜明け前は一番暗い」

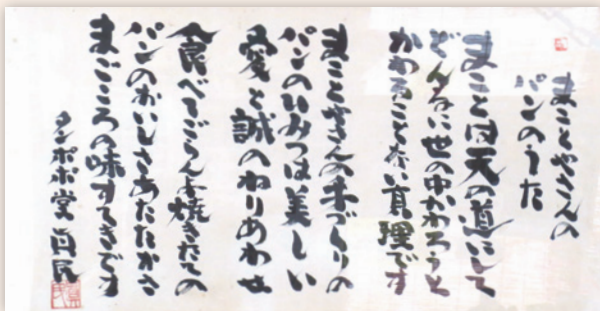
12年前、仕事中に転んで頸椎を損傷し、首から下が動かない身体になりました。医師から寝たきりを宣告され、死ぬことばかり考えていたのです。

愚痴をこぼして涙を流す私に先生は、

「お前はいつもありがとうと言っていたが、一番困った今がありがとうなんだ」「夜明け前は一番暗いが、必ず日は昇る」と語りかけてくださった。乾ききった心に、一つひとつの言葉がしみこんでいくようにでした。

それからはリハビリに励み、奇跡的に上半身は動かせるようになりました。奇跡は「喜積」でもあります。

先生は亡くなりましたが、いつもそばで私を見ていてくださる。お会いした瞬間から私の人生は変わりました。素晴らしい方々とながることができました。先生との出会いがなければ、今の自分はありません。



▲焼き立てのパンを口にして「おいしいなあ」とつぶやいた真民さんが、さらさらと書きあげた



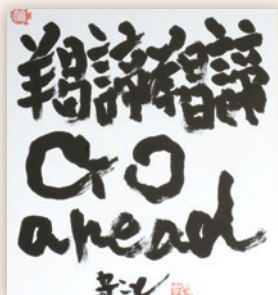
◀皇居にて。写真嫌いの真民さんも、誠さんのカメラには「100%笑顔」だったという。真民記念館の写真の多くは誠さんの撮影



▲息子さんへの「遺産」として建てた3つの詩碑。雨の日は童子像(115番碑)に雨合羽をかける



▲ケガで入院中の誠さんを死の淵から救った色紙



▲「前進」を意味する般若心経の一節。不自由な手で書いた

捨てることに徹する生き方を詠む

「大事なこと」

大事なこと
真民の人間になろうとするためには
着ることもより
食べることも方が大事だ
知ることより
忘れることもの方が大事だ
取得することより
捨離することの方が大事だ
真民



この詩は、真民が74歳の時の詩です。人間としてどう生きるかを求め続けてきた真民が、74歳にして、到達した「真民流の生き方」を詠った詩であると言えます。

「着ることより脱ぐこと、取得することより捨離すること」のほうが大事だ、という考え方は、真民流の生き方の根幹にある考え方です。

人間として生きていく上で、本当に必要なものは、そんなに多くありません。要らないものは、どんどん脱ぎ、また捨てることによって、「身軽になる」ことが、真民流の生き方なのです。

この考え方は、真民がその生き方に最も共感を寄せた、一遍上人の生き方そのもののなのです。

真民は、50歳の時、道後の宝厳寺で一遍上人の立像に触れ、その魂と交流して以来、一遍上人の跡を継ぎ、「詩国」賦算を、生涯の行として、やり遂げる覚悟をしました。

鎌倉時代最後の宗教家である、一遍上人は、武家や貴族の人々からも信奉されていましたが、鎌倉時代のどの宗教家よりも、庶民の中に降りてゆき、とりわけ下層階級の人々から圧倒的な支持を得ていました。

生き方は、「捨て聖」、「遊行聖」と呼ばれたように、破れ綻んだ衣と裸足に草鞋

だけの姿で念仏のお札を配って、全国を回ることだけに生涯を捧げた人でした。そして、亡くなるときには、自分の着ていた物や経本をすべて焼き尽くすことを弟子に命じたとも言われています。

真民も、沢山の本を買って読んでいますが、そのほとんどの物は、読み終わると、それを本当に必要とする方にさし上げていました。

記念館の書斎に置いてあります小さな文机にしても、三瓶時代に使っていたものを40年以上使い続けていましたし、古い物を大切に使っていました。

晩年には色々な賞をもらいましたが、その賞金もすべて福祉団体や町に寄付をし、自分のために使うことはまったく考えない人でした。また、お金を貯めることもまったく関心がなく、ただ、家族が生きるために必要な家とわずかな生活資金を残して亡くなりました。遺言も、「葬式や告別式はするな。骨は宝厳寺のお墓と海に散骨すること。」という簡潔なものでした。

仏様の生き方に近づくため、自分に厳しい生き方を最後まで貫きとおした坂村真民の人生を考えると、この詩は、真民が求めた「究極の生き方」を示すものであり、読者の方への「真民からのメッセージ」であると言えます。

『あなたもボランティアガイドとして 記念館で活動しませんか』

平成25年度坂村真民記念館 ボランティアガイド養成講座・募集要項

昨年に引き続き、今年も記念館のボランティアガイド養成講座を開講します。
要項は下記のとおり。あなたもチャレンジしてみませんか。



受講無料

受講期間 平成25年
10月11日(金)～12月20日(金) [全9回]

定員 30名程度(先着順)
受講決定者には、記念館より「決定通知」をお送りします。

場所 坂村真民記念館
会議室 **募集期間** 平成25年
9月1日(日)～10月4日(金)

募集受付 希望者は、電話かメールで申し込みください。
メールの方は、氏名、住所、年齢、性別、電話番号を
記載してお送りください。
〈電 話〉089-969-3643
〈メール〉info@shinmin-museum.jp
問い合わせ先 TEL089-969-3643(坂村真民記念館)

現在34名の方が活動されています。
(30代から80代まで幅広い方々がいらっしゃいます。)

講座を修了し、
現在ボランティアガイドとして
活躍されている方々の声

- 来館者の方から質問を受け、館長に聞いたり、自分で調べていく中で、自分が知らなかった真民さんのことが良く分るようになった。
- 来館者の方が熱心なファンで、色々教えてもらうことが何度もある。
- 来館者の方と話をすることにより、自分自身が成長することに気付いた。

修了者には修了証書を授与し、26年1月からガイドとして活動していただきます。

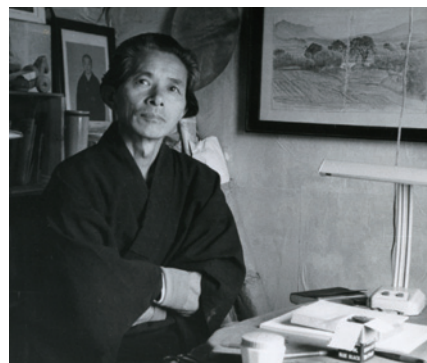
講座概要・日程表

回数	日 時	講 座 内 容	講 師
1	10月11日(金) 10:00～12:00	開講式 坂村真民の生涯(1)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
2	10月18日(金) 10:00～12:00	坂村真民の生涯(2)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
3	10月26日(土) 10:00～12:00	坂村真民の人生と詩について(ビデオ鑑賞)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
4	11月 8日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(1) 三瓶・吉田時代	坂村真民記念館館長 西澤孝一
5	11月15日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(2) 宇和島時代	坂村真民記念館館長 西澤孝一
6	11月29日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(3) 砥部時代	坂村真民記念館館長 西澤孝一
7	12月 6日(金) 10:00～12:00	家族にとつての坂村真民	長女 田中 梨恵子 三女 西澤 眞美子
8	12月13日(金) 10:00～12:00	記念館の特色と展示作品の解説(講義)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
9	12月20日(金) 10:00～12:00	記念館の特色と展示作品の解説(実習) 修了式	坂村真民記念館館長 西澤孝一

宇和島時代の坂村真民

～一遍、森信三先生との出会いから詩国創刊を決意し、
自選坂村真民詩集を出版する～

期間 平成25年10月1日(火)～平成26年3月2日(日)



詩人として生きる覚悟を決めて、全国デビューを果たす

坂村真民は、昭和31年4月から昭和42年3月までの11年間(真民47歳から58歳)を宇和島で過ごし、宇和島東高校及び吉田高校の教師として勤務していました。

宇和島時代の真民を語る時に、まず第一に挙げなければならないのは、一遍上人との出会いです。昭和34年初めて道後の宝厳寺を訪ね、一遍上人立像と対面し、その足に触れることにより、一遍上人の魂と交流し、真民は一遍上人に付いていくことを決心したのです。

次に挙げるべきは、森信三先生との出会いと個人詩誌「詩国」の発刊です。高校の教員をしながら詩人として生きる選択した真民でしたが、その覚悟は、まだまだ生ぬるいものでした。先生から詩人として生きていく覚悟とそのためやるべきことを教えられ、一遍上人の賦算を継ぐことを決意して、昭和37年7月に個人詩誌「詩国」を発刊するのです。

3番目は、岩野喜久代さんとの出会いと「自選坂村真民詩集」が大東出版社から刊行されたことです。定年退職を

記念して「自選詩集」を出版することを考えていた真民でしたが、出版社が見つからずほぼ諦めていた時に、大東出版社の岩野夫人からの出版申し出が届いたのです。以来、岩野喜久代さんは、真民の生き方にも大きく影響を与え、「西の詩母さま」である杉村春苔先生に対して、「東の詩母さま」として信奉される人となるのです。

この間、毎年出版してきた「自費出版詩集」を断念して子供の進学費用に充て、苦しい家計のやりくりを妻・久代の献身的な努力で乗り越えて、真民は詩を作り続けていくことができました。

このように坂村真民にとって、宇和島時代は、本物の詩人として生きていく覚悟を決め、念願の「自選坂村真民詩集」を発刊し、全国に向けて詩人としてデビューする、その足がかりを作った時代であったと言えます。

企画展では宇和島時代の真民に影響を与えた方々を紹介するとともに、この時代の代表的な詩を展示します。坂村真民の詩の世界をより広く深く理解できる企画展です。



まねきねこ(特大)(里窯)1個5250円

砥部焼

真民さんの書を使った砥部焼がたくさん作られています。それぞれの窯元で、食器や置き物などが制作され、ショップを賑やかに飾っています。少しばかりご紹介しましょう。



マグカップ(英峰窯)
1個1570円



赤い実のフリーカップ
(永立寺窯)
1260円



赤い実のトイ皿(小)
(永立寺窯) 1470円

注目!!

ミュージアム
ショップ
拝見

人気モノを紹介します!



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ ホテルクリオコート博多

〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



記念館で画・文黒鉄ヒロシ氏が描いた『坂村真民 念ずれば花ひらく』(えひめリビング社刊)を購入、拝読した。

『宇宙は物ではない。心を持った偉大な生命体である。その宇宙に心服する人間の目を宇宙のまなざしと呼んでいるが、それは千年先までも見る目のことである。人間は、自分の体の中に小さな宇宙を持っている。自分の体は宇宙の縮図であるという自覚を持って、世の中のためになる仕事をしなければならない。』

と、神秘的な絵画で描かれていた。

千年のまなざしを持つ本物人を目指そうと決意を新たにした美しい小冊子です。

南木曾木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫
TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp/> メール kao@nagiso.co.jp

花は一瞬にして咲かない

大木も一瞬にして大きくはならない

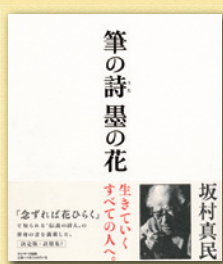
一日一夜の積み重ねの上にその栄光を示すのである



医療法人 誠志会
碓部病院
TOBE HOSPITAL

〒791-2114 愛媛県伊予郡碓部町麻生40-1 TEL089-957-5511

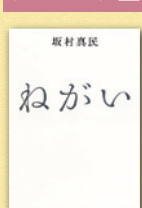
坂村真民記念館
所蔵の作品を満載!



定価=3675円(税込)

筆の詩墨の花

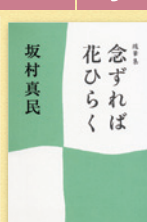
サンマーク出版



随筆集 念ずれば花ひらく
随筆集 めぐりあいのふしぎ
随筆集 愛の道しるべ

定価=各1890円(税込)

坂村真民の本



詩集 二度とない人生だから
詩集 宇宙のまなざし



定価=各1050円(税込)



刊行後15年で
9.3万部の
超ロングセラー!

詩集 念ずれば花ひらく

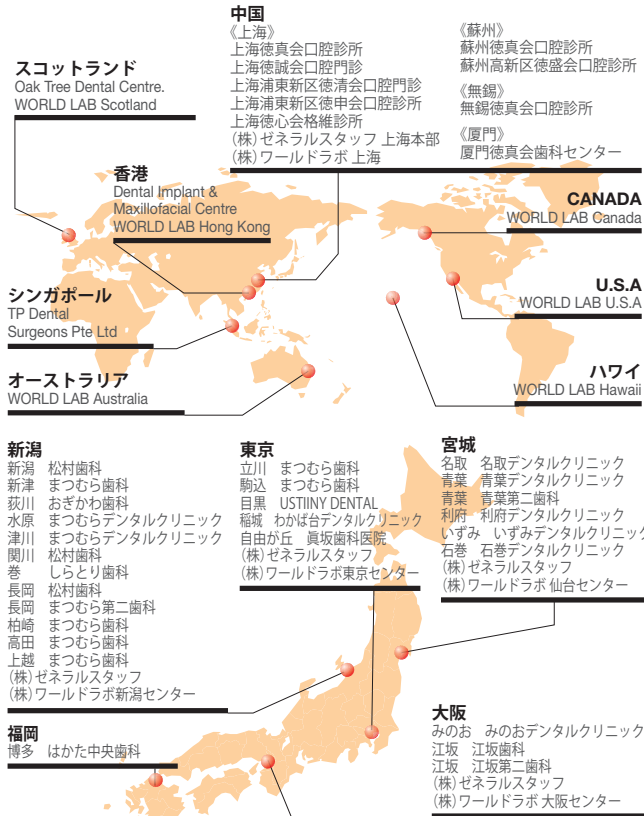
サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11 <http://www.sunmark.co.jp>
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167

いま届けたい、生き方の道しるべ

医療法人 徳真会グループ

「医療は人なり」の診療概念をもとに患者第一主義の歯科医療グループです。
国内外36ヶ所の歯科医院を展開し、年間80万人の治療に携わっております。



新潟

松村歯科 新潟診療所
まつむら歯科 新潟診療所
おぎかわ歯科
まつむらデンタルクリニック 水原診療所
まつむらデンタルクリニック 津川診療所
松村歯科 関川診療所
しらとり歯科
松村歯科 長岡診療所
まつむら第二歯科 (長岡市)
まつむら歯科 柏崎診療所
まつむら歯科 高田診療所
まつむら歯科 上越診療所

☎025-201-1885
☎0250-24-6688
☎0250-23-4880
☎0250-62-2151
☎0254-92-0150
☎0254-64-1201
☎0256-72-1771
☎0258-28-4108
☎0258-31-7202
☎0257-20-0310
☎0255-521-6780
☎0255-522-6001

宮城

いすみデンタルクリニック
青葉デンタルクリニック
青葉第二歯科
利府デンタルクリニック
名取デンタルクリニック
石巻デンタルクリニック

☎022-253-1588
☎022-348-2125
☎022-348-1085
☎022-766-4130
☎022-381-0921

大阪

江坂歯科
江坂第二歯科
みのおデンタルクリニック

☎06-6386-0233
☎06-6310-7660
☎072-749-2080

東京

まつむら歯科 駒込診療所
まつむら歯科 立川診療所
USTINY (アスティニー)
わが台デンタルクリニック

☎03-3949-8818
☎042-538-1088
☎03-6431-8633
☎042-350-5671

福岡

はかた中央歯科

☎092-892-5134

中国

厦門徳真会歯科センター
上海徳真会口腔診所
上海徳誠会口腔門診
上海浦東新区徳清会口腔門診
上海浦東新区徳申会口腔診所
上海徳心会格維診所

☎86-592-2290088
☎86-21-5208-0208
☎86-21-6340-0290
☎86-21-5030-7858
☎86-21-6856-1040

蘇州徳真会口腔診所
蘇州高新区徳盛会口腔診所
無錫徳新会口腔診所
Branemark Osseointegration Center

株式会社ワールド・ラボ
新潟センター
大阪大阪センター
仙台センター
東京センター
WORLD LAB U.S.A
Ultimate Styles Dental Laboratory
徳真会歯科制作(上海)有限公司

☎86-512-6763-5720
☎86-512-6803-2501
☎86-510-85281121
☎86-21-6289-8101

株式会社ゼネラルスタッフ

本社 025-201-1183
新潟本部 0250-25-2016
東京本部 03-6431-9809
大阪本部 06-6310-6066
上海本部 86-21-6340-0316



医療法人
徳真会グループ

徳真会

検索



www.tokushinkai.or.jp

坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、真民グッズなどの記念品を贈呈します。

パスポート会員 特典 会員証で入館無料1人 ほか
年会費2000円

一般会員 特典 会員証で入館無料1人 ほか
年会費5000円

特別会員 特典 会員証で入館無料2人 ほか
年会費10,000円

法人会員 特典 会員証で入館無料2人、
年会費10,000円 観覧券10枚贈呈 ほか

詳しくはホームページをご覧ください

坂村真民記念館 友の会

検索

〈編集後記〉 10月1日から「宇和島時代の坂村真民」展が始まります。一遍上人や森信三先生との運命的な出会いを経て、「詩国」を創刊し、いよいよ本物の詩人として生きる覚悟を決めたのが、この宇和島時代です。宇和島での生活と真民詩との関わりをより深く理解するための展示構成となっています。是非お知り合いの方をお誘い合わせのうえ、どうぞ記念館にお出かけ下さい。(西)

タンポポだより vol.6 秋号

平成25年9月1日発行 表紙写真：西澤孝一

発行元／坂村真民記念館友の会事務局

〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内

TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

〔坂村真民記念館〕

開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)

休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日

入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、

小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり